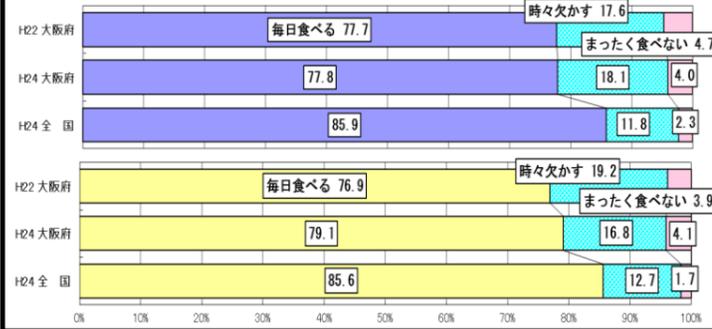


生活習慣の状況 (生徒質問紙調査)

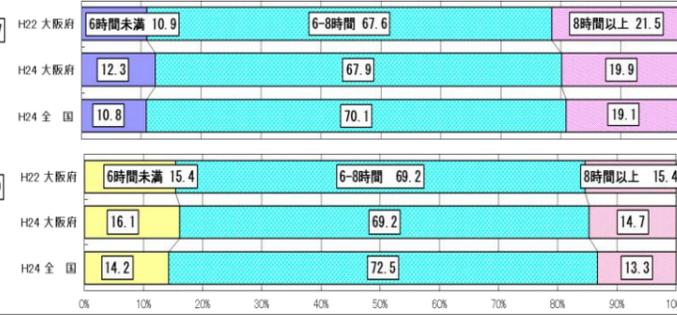
質問: 朝食の有無

・全国と比べ、「毎日食べる」の割合は低い。
 ・「毎日食べる」は平成22年度と比べ、男子では0.1ポイント、女子では2.2ポイント上回った。



質問: 1日の睡眠時間

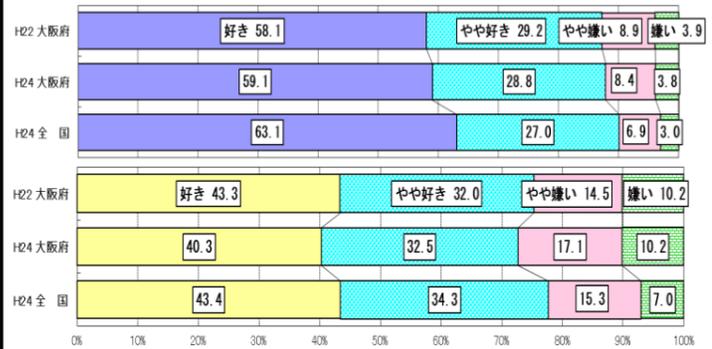
・全国と比べ、睡眠時間が「6時間以上8時間未満」の割合は低い。
 ・「6時間以上8時間未満」は平成22年度と比べ、男子で0.3ポイント上回った。



運動に関する意識、運動習慣の状況1 (生徒質問紙調査)

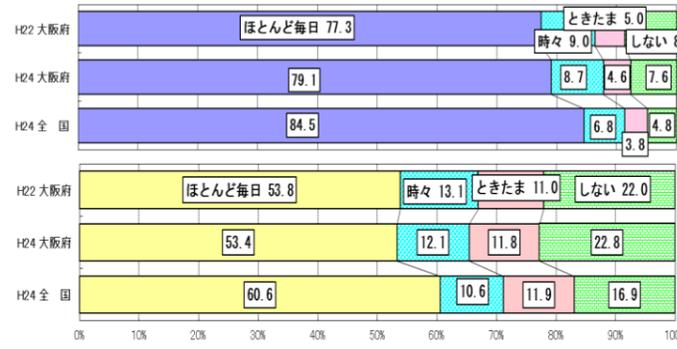
質問: 運動やスポーツをすることは好きですか

・全国と比べ、「やや嫌い・嫌い」の割合は高い。
 ・「やや嫌い」「嫌い」は、平成22年度と比べ、男子で0.6ポイント下回ったが、女子で2.6ポイント上回った。



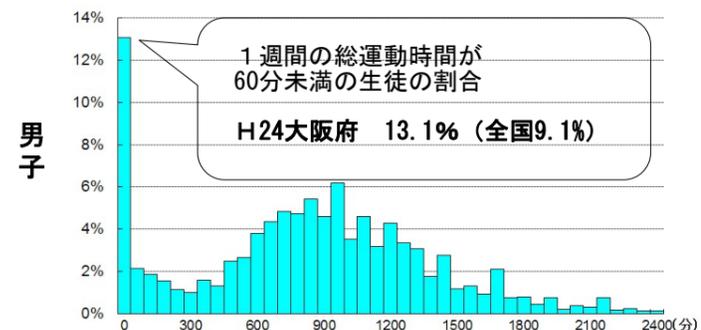
質問: 運動・スポーツの実施状況(体育授業除く)

・全国と比べ、「ときたま」「しない」の割合は高い。
 ・「ときたま」「しない」は、平成22年度と比べ、男子で1.4ポイント下回り、女子で1.6ポイント上回った。



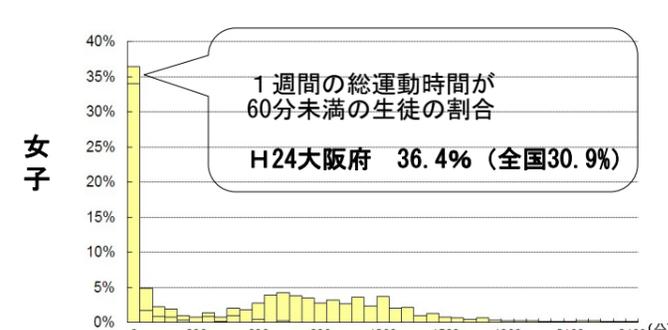
1週間の総運動時間との関連

・1週間の総運動時間の分布は、平成22年度調査と同様、明確な二極化がみられた。
 ・特に、女子の1週間の総運動時間が60分未満の生徒は、36.4%であった。



1週間の総運動時間が60分未満の割合

中学校	男子		女子	
	大阪府	全国	大阪府	全国
H24	13.1%	9.1%	36.4%	30.9%
H22	12.8%	9.3%	36.7%	31.1%



運動に関する意識、運動習慣の状況2 (生徒質問紙調査)

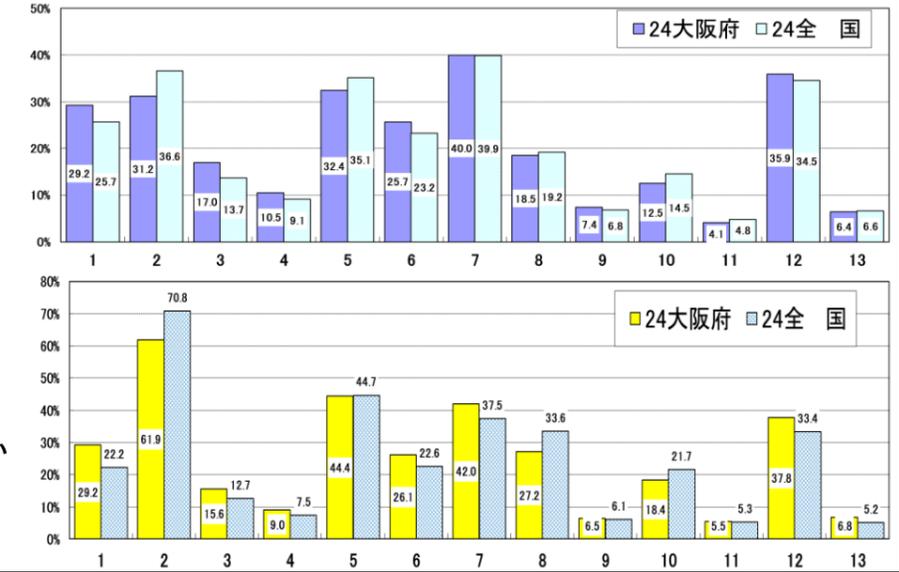
質問: 運動やスポーツをしない理由は何ですか。

【※運動やスポーツを「ときたま」(月に1~3日くらい)、もしくは、「しない」と回答した児童の理由】

・男子は「疲れる」が40.0%で最も高かった。
 ・女子は「文化部に所属」が61.9%で、最も高かった。

※ 番号の質問内容

1. 入りたい運動部活動がない
2. 文化系の部活動に入っている
3. 入りたい地域のスポーツクラブがない
4. 一緒にする友達がない
5. 運動やスポーツが苦手で自信がない
6. してみたいスポーツが見つからない
7. 疲れる
8. する時間がない
9. 運動やスポーツをする時間があれば、勉強などをするように言われる
10. する場所や機会がない
11. どこでスポーツ活動をしているかの情報がない
12. してみたいと思わない
13. その他



体力向上に関する取組(学校質問紙調査)

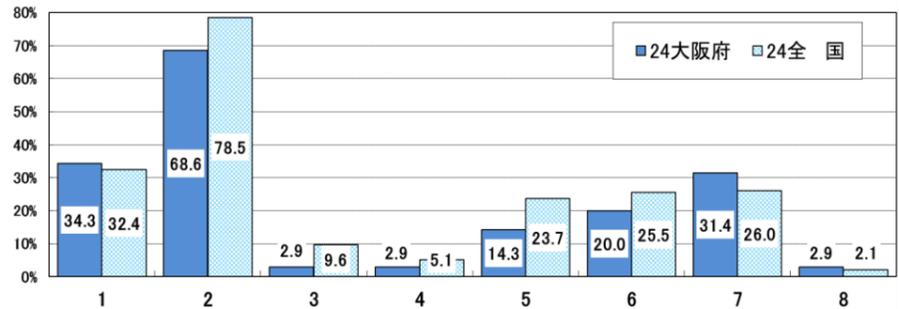
質問: 実施した体力向上の取組のうち、大きな効果が上がったと思われるものはどれですか (複数回答可)

【※平成20年頃と比較して、体力向上に関する取組が増えたと回答した学校(62.5%)の実施内容】

・「保健体育授業における体力向上のための取組」が68.6%と最も高く、次に「体力向上のための体育的行事等」が34.3%であった。

※ 番号の質問内容

1. 体力向上のための体育的行事等
2. 保健体育授業における体力向上のための取組
3. 地域と連携した体力向上に関する取組
4. 家庭・保護者と連携した体力向上に関する取組
5. 始業前や休み時間、放課後等の運動時間確保のための取組
6. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査を踏まえての取組
7. 運動部の加入率を向上させるための取組
8. その他



質問: 学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえて、どのような取組をしましたか (取り組む予定ですか) 複数回答可

・「保健体育の授業改善に取り組んだ」が77.2%と最も高く、次に「保健体育の授業以外で、生徒の体力向上に関する取組を行った」が14.0%であった。
 ・「調査の結果を踏まえた取組をしていない(行う予定はない)」は7.0%で、平成22年度より、9.4ポイント改善した。

1. 保健体育の授業改善に取り組んだ (取り組む予定である)
2. 保健体育の授業以外で、生徒の体力向上に関する取組を行った (行う予定)
3. 家庭・保護者に対して生徒の体力向上に関する働きかけを行った (行う予定)
4. その他
5. していない (行う予定はない)

